

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の特徴（和歌山県）

1 教科に関する調査結果

(1) 和歌山県（公立）と全国（公立）の平均正答率

単位：％

	小国A	小国B	小算A	小算B	合計	中国A	中国B	中数A	中数B	合計
県	75	57	79	46	257	77	70	65	48	260
全国	75	58	79	46	258	77	72	65	48	262
差	0	-1	0	0	-1	0	-2	0	0	-2

※平成28年度からは、学力面において、細かい桁における微かな差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

(2) 和歌山県（公立）平均正答率と全国（公立）平均正答率との差の推移

	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
H26	-4	-3	-1	-2	-2	-3	-1	-3
H27	0	0	1	0	-3	-3	0	-2
H28	-3	-2	-1	-1	-2	-4	0	-1
H29	0	-1	0	0	0	-2	0	0

(3) 調査結果の特徴

平均正答率は、すべての教科で全国平均との差が大きく改善した。

○成果

- ・国語のA問題と、算数・数学のA問題・B問題が、全国平均と同等となった。
- ・小学校国語、算数と中学校数学では、記述問題の平均正答率が、全国平均を上回った。
- ・無解答率は、小学校、中学校ともにすべての教科で減少し、全国平均より低くなった。

●課題

- ・中学校国語のB問題では、全国平均との差が縮まったが、「読むこと」や「書くこと」に関する問題の正答率が全国平均を下回っている。

2 質問紙調査の結果

pt：ポイント（回答率の差）

○成果

- ・「授業の目標が示されていたと思う」「振り返る活動をよく行っていたと思う」と回答した子供の割合がさらに増加し、学習に取り組む姿勢が一層向上した。
【「目標が示されていた」：全国差 小学校+2.6pt、中学校+1.9pt】→概要 P6(3)
【「振り返る活動」：全国差 小学校+5.6pt、中学校-0.9pt】→概要 P6(4)
- ・小学校では、家で学校の復習をする子供の割合が、全国を上回った。
【全国差 小学校+0.2pt】→概要 P10(16)

●課題

- ・自ら学習に取り組むことや話し合う活動に対して、肯定的に回答する子供の割合が低い。
【「自ら学習に取り組む」：全国差 小学校-2.4pt、中学校-4.1pt】→概要 P8(9)
【「話し合う活動」：全国差 小学校-1.2pt、中学校-3.6pt】→概要 P8(10)
- ・休日にまったく勉強しない子供の割合は、改善してきているが、依然として高い。
【全国差 小学校+2.8pt、中学校+6.6pt】→概要 P10(17)

3 これまでの主な取組

○県教育委員会、市町村教育委員会、学校が一体となって、下記の学力向上対策に取り組んだ。

- ・市町村教育委員会とともに、課題の大きい学校を重点的に訪問し、各学校の課題改善に向けた取組を指導・支援
- ・すべての小・中学校で、学力向上推進プランを活用した組織的な検証改善サイクルを実行
- ・「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底し、子供が見通しを持って意欲的に取り組める授業を実践
- ・国語科授業事例集の活用による思考力・判断力・表現力を高める授業を徹底
- ・国語マスター問題集、評価問題、評価テスト等を配信し、課題改善に向けた取組を徹底